

28年度の調査を行いました

昆虫と植物の調査を春季、夏期、秋季、冬季にそれぞれ行いました。観察した生き物を紹介します。

昆虫

10目 50科 136種を確認！

チョウ目
52種

トンボ目
10種

バッタ目
34種

カマキリ目
4種

ゴキブリ目
1種

コウチュウ目
37種

ハチ目
23種

カメムシ目
29種

ハエ目
5種

アミメカゲ
ロウ目
1種

ハサミムシ目
1種



白屋では、たくさんの種類のチョウやバッタが観察できるんだね。

植物

92科 281種を確認！

石垣
94種

草地
72種

社寺林
6種

植栽
29種

道路
72種

その他
24種

※社寺林は樹木のみ記録



白屋の植物にとって、石垣が大切な場所になっていることがわかりました。



石垣から生えるシャガ

石垣



サツキ

吉野川沿いの岩場に多い植物ですが、白屋の石垣にも見られます。



クサノオウ

有毒植物ですが、古くから皮膚病の薬草としても用いられます。



ユキノシタ

葉は春の山菜として有名です。集落の貴重な食料だったかもしれません

社寺林



←旧八幡神社社叢林

白屋には、移転した八幡神社の社叢林があります。タブノキ、カゴノキなど暖地性の樹木が生い茂る大切な森です。



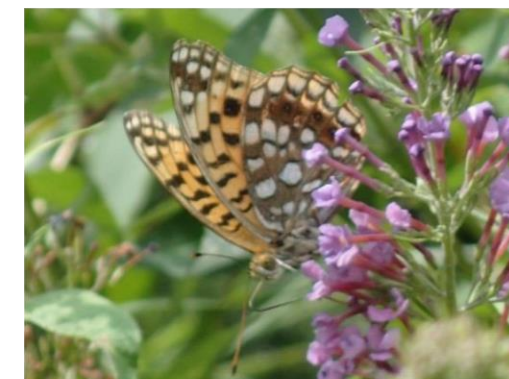
クサフジウツギ

外来植物ですが、チョウが蜜(みつ)を吸うための大切な植物となっています。



ツルドクダミ

石垣の際や道路や溝の際に生えています。花には様々な昆虫が訪れます。特にハチの仲間が多く集まります。



ウラギンヒョウモン

明るい草地を好むタテハチョウの仲間。奈良県ではちょっと少ないチョウですが、白屋では多く見られます。



オオセンチコガネ

草地



白屋では、住民がいなくなり草刈りができなくなったため、現在はススキ草原となっているところが目立ちます。



ショウリョウバッタモドキ

安定したイネ科の草地にすむバッタ。奈良県では希少種に選定されていますが、なんと白屋では普通に見られます。



ヒメジョオンとベニシジミ

明るい草地を好む両種は、昆虫写真の練習素材としてオススメです。



白屋の石垣がたくさん積まれた景観にすみかをたよっているのも生き物。緑いっぱい景観を作っているものも生き物です。できるだけ、たくさんの生き物が今と同じように将来もくらしつづけられるようにすることが、流域の人々がくらしやすい環境づくりにもつながっていきます。

編集・発行：森と水の源流館（公益財団法人吉野川紀の川源流物語）

●住所：奈良県川上村宮の平 ●電話：0746-52-0888

●E-mail：morimizu@genryuu.or.jp ●URL：http://www.genryuu.or.jp/